

代替わりを機に天皇制を考える連続企画 第5回

なにが問題？植樹祭

—新天皇の初の「公的行為」—

日時:5月21日(火)

PM6:30~8:45

場所:イーブルなごや
視聴覚室

地下鉄名城線「東別院」下車 1 番出口東に地歩 3 分

お話:天野恵一さん

「反天皇制運動連絡会（反天連）」、「福島原発事故緊急会議」等で活動。『季刊ピープルズ・プラン』編集委員。『沖縄経験—く民衆の安全保障へ』（社会評論社）『日の丸・君が代』じかけの天皇制』（インパクト出版会）『災後論 核（原爆・原発）責任論へ』（インパクト出版会）など著書多数。

新元号の発表と一連の代替わり行事で天皇制一色に染められたかのようなニッポン。

私たちは、この間天皇制がはらむ国家主義、軍事主義、家父長制、国家神道などの問題を問う活動をしています。

6月に愛知で全国植樹祭が、新天皇初の「公的行為」として大々的に行われます。

憲法には「天皇は、この憲法の定める国事に関する行為のみを行ひ、国政に関する権能を有しない。」（第4条）と規定されています。新天皇が出席する植樹祭を契機に、肥大化する「公的行為」がもつ問題性を改めて考えます。

多くの方の参加を呼びかけます。

参加費 800 円

主催・代替わりを機に天皇制を考える

あいちネットワーク

連絡先：090-6468-5556

報告:愛知の植樹祭は..